

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

新しい時代へ「Chance Challenge Change」

新しい年が始まり、早いもので1か月が過ぎようとしています。それぞれの園・学校におかれましては、いよいよ1年の締めくくりを行う時期ということで、多忙な日々をお過ごしのことと存じます。今年は「亥年」です。インターネットで「亥年」について調べてみると、「個人は、知識を増やす、精神を育てる」「組織は、人材育成や設備投資、財務基盤を固める」といったように、内部の充実を心がけると良い年だと書かれていました。2019年はインプットをいつも以上に意識して、2020年から始まる新学習指導要領の新たな展開につなげられるといいなと感じています。

また、今年は「平成最後の年」、そして新しい時代が始まる年でもあります。時代の急速な変化と発展の中で、子どもたちが将来においても意欲的に、そして主体的に活動し、いきいきと輝く姿を誰もが願っています。私たち教職員が日々子どもと向き合う中においては、自分の思い通りになることばかりでなく、思い悩み失敗することも少なくありません。しかし、この迷いや悩みは、次のステップにつながる大きな機会ではないでしょうか。新しい時代が始まる今、迷いを好機（Chance）ととらえ、試行錯誤を繰り返し挑戦（Challenge）し続けることで成長・変革（Change）していけたらと思います。

外国人幼児のための就学前支援教室「ふたば」

来年度4月に、市内小学校へ入学予定の外国人幼児を対象にした就学前支援教室「ふたば」（以下、ふたば教室）が始まりました。今年度は、17人の幼児が元気に学んでいます。

ふたば教室は、1月～3月の毎週土曜日開設し、就学前の外国人の子どもたちが小学校生活をスムーズにスタートできるように、学校生活で使う基本的な日常会話や初期日本語学習を実施するとともに、保護者への情報提供等を行っています。いっぽ教室が1対1での指導を行っているのに対し、ふたば教室は学校と同じ形で先生が前に立って指導をしています。これも日本の学校に慣れるためです。また、ふたば教室では、保護者が教室の後ろで子どもたちの学習の様子を見守っています。保護者自身が日本の学校についての知識を身に付けることができ、保護者の学習の場にもなっています。

ふたば教室に通う子どもたちが、4月からの小学校生活を笑顔で安心して始められるよう、指導員やボランティアの皆さんが熱心に指導していただいています。



（野田 幸範）

研修講座報告その5 ～研修講座の様子をご紹介します！～

A-6 理科

「小学校理科の授業づくり」

3つの実験を通して、深い学びを実現させる理科授業のあり方についてご教授いただきました。児童生徒に、現象の意味を問い直すことで、知識を関連付け、意味をつなげ、学びを深めることができることを学びました。



講師 森田 和良 先生

B-1 教育課程

「新学習指導要領に対応した資質能力を育む授業と教育課程」

新学習指導要領のポイントをわかりやすく解説していただきました。理科の模擬授業とワークショップを通して、ジグソー法を取り入れた授業づくりや、その授業での児童生徒の活動や学ぶ姿をイメージすることができました。



講師 益川 弘如 先生

B-4 情報教育

「ICT を活用した授業づくり」

実践事例を通して、ICT 機器を活用した授業づくりについて教えていただきました。改めて、機器は単に使用すれば良いのではなく、目的をもって活用しなければ意味がないことがわかりました。授業づくりのヒントをたくさん得ることができました。



講師 三雲中学校職員

B-10 人権教育Ⅲ

「新しい人権教育の創造へ ～ ジブリ・ディズニーから TVドラマ99.9の世界へ、そして・・・～」

情報社会の現代では、見たこと聞いたことについて、「〇〇と聞いていた」「たぶん〇〇だろう」と確かな情報かを確認せずに思い込み、そこに偏見や差別につながっている要因ことがあることを詳しくご教授いただきました。



講師 大久保幸一先生

B-11 生徒指導Ⅰ

「保護者対応 –さまざまな声に向き合う学校を目指して–」

事例を通して、初期対応、話し方、問題点の把握など、対応におけるポイントを詳しくご教授いただきました。また、問題が起きた後の対策法を知るだけでなく、問題が起こる前の準備、心構えについても、意識を高めることができました。



講師 小菅 昌秀 先生